

王者青大、白星スタート

北東北大学野球

北東北大学野球秋季リーグが22日、1、2部そろって開幕し、2球場で計5試合を行った。1部

は青森市の県営球場で行い、昨秋の覇者・青森大がノーアジア大を5-3で破り、連覇に向け好スタートを切った。

そのほかの1部は、八

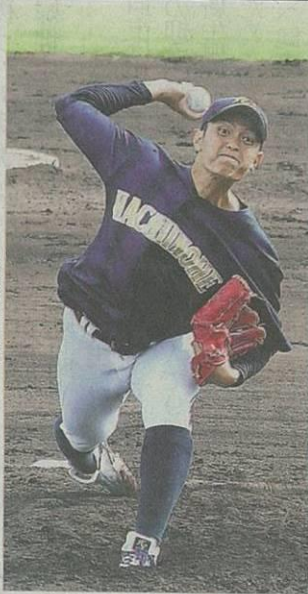
え、岩手大にコールド勝ちを決めた。青森中央学院大は富士大に3-6で敗れた。

2部では弘前大と青森

公立大の県勢対決があり、8-1で青森公立大が八回コールド勝ちした。

第1週第2日の23日も2球場で計5試合を行う予定。3部は4チームのうち3チームが欠場するため中止となっている。

(川越真也)



【八学大―岩手大】岩手大打線を相手に7回を無安打無得点に抑えた八学大の大道一青森県営

7回を無安打無得点

○：最後の打者を三振に仕留めると、八学大の大道は小さくカッポースを見せた。1死球を与えただけで、参考記録ながら岩手大を無安打無得点で封じ込んだ。

序盤は接戦で「自分が打たれたら相手に勢いが乗り危ない」と感じた大道は、質がよかったとい

「直球を軸にスライダ―とフォークを織り交ぜ低めを攻め続けた。スライダーはカウントを取る球と空振りを取る球を意図的に投げ分け、相手打線の的を絞らせなかった。

持ち球の6球種を全て使い、初戦をものにした大道は「集大成のリーグ戦。1打者1球が全て最後なので、悔いが残らない」と先を見据えた。

正村監督は大道の投球に「まだまだ。リーグの3、4週目にピークを持つていってこれれば」と話した。次戦は、勝負どころでの登板を予想するプロ注目右腕は「きょうのことは忘れて、あしたの自分として投げきりたい」と先を見据えた。